

臨床研究に関するお知らせ

愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科では、病気で困っている患者様の治療法を向上させるため、さまざまな臨床研究を行っています。今回、下記の研究1件を行いたいと考えています。研究を行うにあたっては、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。もしも下記の研究内容に該当すると思われた方で、ご自身の検査データなどが用いられることにご質問などのある方は、下記の連絡先にご連絡ください。

1. 研究課題名

「腹腔鏡下肝切除術の安全性に関する検討 ～後ろ向き多施設共同研究～」

研究者氏名：

主任研究者

高井 昭洋（愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科 講師）

研究者

高田 泰次（愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科 教授）

藤山 泰二（愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科 准教授）

小川 晃平（愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科 講師）

中村 太郎（愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科 助教）

井上 仁（愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科 助教）

坂元 克考（愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科 助教）

水本 哲也（愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科 助教）

伊藤 英太郎（愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科 医員）

田村 圭（愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科 医員）

上野 義智（愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科 医員）

2. 研究の概要

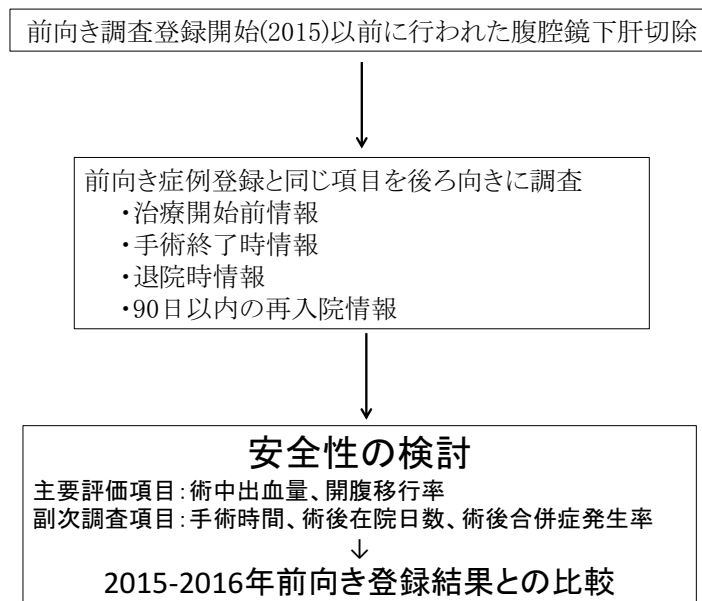
2.1 目的

症例調査票を用いて腹腔鏡下肝切除術の安全性を多施設共同研究により評価することです。

2.2 方法

カルテに記載された情報を基に、治療開始前情報、手術終了時情報、退院時情報、90日以内の再入院情報を調査票にて調査し、手術の安全性を評価します。

（シエーマ）



2.3. 対象

2015年12月以前に、当院 肝胆膵・乳腺外科において、腹腔鏡下肝切除を受けた方全員が対象となります。

2.4. 被験者の実体験

本研究は、過去に行われた画像を用いた診断、手術記録、入院カルテや外来カルテの記録をもとに行われる後ろ向き解析であり、対象となった方に新たな検査や治療が本研究のために行われることはありません。

3. 研究が行われる機関または実施場所

愛媛大学医学部附属病院で行われます。

4. 研究における倫理的配慮について

人権への配慮（プライバシーの保護）

本研究実施に係る原資料類および同意書などを取り扱う際は、被験者の秘密保護に十分配慮いたします。病院外に提出する報告書、学会発表、学術論文においては、被験者を特定できる情報を含めません。もしもこのホームページで公開した本研究内容をご覧になり、研究対象となることに同意されないと連絡された方は研究対象には含めません。被験者ご本人またはご家族の中で、本件にご質問のある方は下記にご連絡くださいますようお願いいたします。

研究対象となった方は今後もこの研究のために新たに治療や検査を受けることはなく、医療費がかかることはありません。また研究協力に対して謝礼が支払われることはありません。

5. 本研究に関する連絡先

〒791-0295

東温市志津川 肝胆膵・乳腺外科学

愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科 高井 昭洋

電話：089-960-5327、FAX：089-096-5329

メール：surgery1@med.ehime-u.ac.jp